

No. J02	まっちゃん	年月日	令和5年2月9日(木)
---------	-------	-----	-------------

設問

[問い1] 今だったらどんな質問ができるか

- (1) 無事正社員への話がきたのに、正社員になるか悩まれているのはどうしてなのでしょう？
- (2) 大野さんにとって、安定とはどういったことなのか教えて頂けないでしょうか？
- (3) 仕事は仕事でそれ以上でも以下でもないとはどういったことなのでしょう？
- (4) 冒頭の自分でも良くわからなくなってきたというのは、なぜなのでしょう？
- (5) やることが変わらないかもしれないとのことですが、どうしてそう思われるのでしょうか？
- (6) 大学時代からずっと正社員として仕事を探されていたのは、どうしてなのか教えて頂けますか？

[問い2] 良かった点と悪かった点 (各2行)

事例Ⅰの CCt8 (相応しい・相応しくない)

(良) 相談者の話すテンポが速く、相談者が話したトピックスを見つけづらい状況にあったが、丁寧に傾聴することで、後半は会話のテンポが抑えられ、比較的落ち着いて面談を進めることができた。

事例Ⅱの CCt9 (相応しい・相応しくない)

(悪) 冒頭の来談目的から、相談者が何に対して悩んでいるのか具体的に特定することができず、正社員への話で悩んでいる要因について深く掘り下げることができなかつた為、信頼関係の構築が遅れた。

[問い3] クライエントの主訴

物流倉庫で派遣社員として倉庫管理の仕事をしていましたが、会社から正社員への登用の話があった。大学卒業後の進路選択の時から正社員を目指していた為、今回の正社員の話ポジティブに捉えている反面、正社員としての仕事はこれまで一切経験していないため分からず、派遣社員として長く働いているという理由もあり、受けるべきかどうか自身でもよく分からなくなり、悩んでいる。仕事内容も性格には把握できておらず、今現在職場や家庭などで相談ができないと相談者自身は感じており、相談に来た。

[問い4] 今後の展開 (どのように進めるか)

相談者の派遣社員として長く仕事をしてきており、正社員の仕事に対して分からずに悩んでいる感情を丁寧に傾聴し、正社員の仕事について冷静に検討できるように促す。その上で、job tag の興味・価値観検査を紹介し、相談者の同意が得られれば、その利用を促し、自身の仕事に関する価値観の理解を深めてもらう。また、両親のことや、経済的なことも含めて、正社員としての雇用を望んでいる要因の整理を促し、正社員になった際の得られる結果をイメージできるようにする。上記により、相談者が主体的に正社員の話を受けるかどうかも含めて今後のキャリアを意思決定できるように支援していく。